

## 授業科目 眼科学 I

【担当教員名】 阿部 春樹		対象学年	1	対象学科	視機
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 感覚器として我々の視覚を担っている眼球とその付属器について、基礎医学的および臨床医学的な知識を概説する。はじめに、現代医学における眼科学についての総論を述べ、眼科学の基礎を習得させる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 眼科学の歴史が理解できる。 2. 視覚器の構造が説明できる。 3. 主要な眼疾患が理解できる。 4. 眼科学の新しい知見を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	眼科学総論 I 眼科学の歴史			1	講義
2	眼科学総論 II 眼の病気 今と昔			1	講義
3	眼科学総論 III 眼の検査 今と昔			1	講義
4	眼科学総論 III 眼の手術 今と昔			1	講義
5	視覚器 眼球、眼球付属器、視神経、視路、眼球の計測値			2	講義
6	脳と神経 視覚伝導路、大脳皮質と機能局在、脳と脳神経			2	講義
7	眼球運動系 核上性中枢、眼球運動神経核、末梢神経、開瞼運動			2	講義
8	眼の自律神経 自律神経、瞳孔、近見反応、調節、輻輳			2	講義
9	眼圧、房水、涙液			2	講義
10	主要眼科疾患の知識 (1)			3	講義
11	主要眼科疾患の知識 (2)			3	講義
12	主要眼科疾患の知識 (3)			3	講義
13	眼科の緊急対応			4	講義
14	最近のトピックス (1)			4	講義
15	最近のトピックス (2)			4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子 (編)	文光堂	2011・18,000円+税
		標準眼科学第12版	木下茂 他	医学書院	2013・7,000円+税
参考書					
その他の資料		適宜、プリントを配布する。			
【評価方法】 定期試験、授業態度を総合して評価する。			【履修上の留意点】		